

2026.3
No.162

膳所 市民ニュース

ZEZE CIVIC NEWS



発行 膳所まちづくり委員会
編集 情報発信部
膳所市民ニュース編集班
(膳所市民センター内 ☎077-524-2205)

市民ニュースHPには、お知らせやトピックス掲載中。

特集

神話を
伝える

あわづごく 粟津御供と五社

今は膳所と呼ばれている私たちの町ですが、中世の頃は「粟津」と呼ばれていました。西ノ庄、木下、膳所、中庄、別保を「粟津五カ村」、鳥居川、馬場・松本を加えて「粟津七カ村」とも言います。粟津五カ村の氏神様が五社ですが、その粟津の語源となったのが日吉大社に伝わる「粟飯」神話で、神話を今に伝える神事が「粟津御供」です。



粟津神社(中庄)

祭 山王祭と船渡御

全国に3,800余の分霊社を持つ日吉大社の大祭、山王祭は華やかで勇壮な祭として、大津祭などとともに湖国三大祭に数えられています。

2月末からの神事の内でもよく知られているのが、4月12日の夜に二社の神輿が八王子山を下る「午の神事」、4月13日甲冑で身を固めた稚児の行列「花渡り」、その夜に四社の神輿が宵宮場で激しく揺すぶられ落とされる「宵宮落とし」、そして、4月14日比叡山の僧も居並ぶ中で行われる「例祭」とその後七社の神輿を乗せた御座船が唐崎沖で粟津からの御供船を迎える「船渡御」です。

粟津御供は、その「船渡御」の際に七社の神輿の神様への食事を用意する神事全般を言います。



祭 粟津御供の流れ

粟津御供の準備は、膳所の五社が毎年交代で行います。今年の場合は和田神社が当番神社として、4月12日から御供づくりを行い、4月14日は朝一番に中庄の粟津神社に参拝してから、猿の幕をつけたバスで五社の宮司や役員が日吉大社に向かいます。日吉大社では西本宮での例祭に参列した後、午後は唐崎の大塚食品琵琶湖研究所から日吉大社、膳所五社の宮司とともに御供船に乗りこみます。湖上で御座船に近くと七社の神輿に祝詞奏上し大御幣を供え、七社分の御供はびわ湖の神のために投げ入れます。



祭 御供には古代の菓子も

用意する御供は、粟飯のほかタケノコ、塩鯛、干し柿、栗、みょうが、ワカメなど山海の珍味からなっていますが、中でも米粉で作る「ブドマカリ」は古代の菓子を模したものです。



古代の菓子「ブドマカリ」



祭 粟津御供セミナー参加者募集

今年の粟津御供当番神社の和田神社と膳所歴史資料室では粟津御供セミナーを開催いたします。



内容は、①粟津御供の説明と和田神社役員等で準備する御供の見学、②御供船への乗船です。定員は15人で、②御供船乗船者は協力金として1,000円(18歳以下無料)いただきます。

- ①御供の見学と説明
4月12日(日) 午後2時から1時間程度
会場：和田神社参集殿
- ②粟津御供船乗船
4月14日(火) 午後3時30分頃から5時頃まで
集合：唐崎1-11-1 大塚食品琵琶湖研究所駐車場

参加ご希望の方はハガキに住所・氏名・年齢・電話番号・セミナー番号①②のいずれかか、又は両方をご記入の上、〒520-0812 木下町7-6 寺田智次までお申し込みください。メ切は4月2日(木)必着。応募多数の場合は抽選。

祭 日吉大社と粟津

日吉大社の西本宮に祀られている大己貴神は、天智天皇が大津宮に遷都された際に奈良の三輪山から勧請されたと伝わっています。日吉神話では三輪山の神様が唐崎の沖までやってくると、そこに膳所の漁師田中常世が通りかかり、高貴な方だと知ると何かを差し上げようとしたが、粗末な粟飯しかなかったため、それを献上すると神様は大変喜び、年に一度はその粟飯が食べたいとおっしゃったことから、毎年膳所から粟飯をお供えするようになったとのこと。



この神話は、古代から中世の膳所に宮中や日吉大社へ食材を調達し献上できるほどの大きな町があり、日吉大社とはその後も深いつながりがあったことを示しています。

祭 粟津御人

宮中や比叡山延暦寺、日吉大社などに食材を献上していた粟津の漁師たちは「粟津御人」と呼ばれ、都での湖魚の独占販売権や通行税の免除など様々な特権が与えられていました。また、近江名所図会には山王祭を前に、膳所を通行する商人たちから粟津御人が神供料を徴収する様子が描かれています。ただし神供料の徴収は江戸時代になり膳所藩が神供料10石を与えるようになってからは廃止されました。



祭 五社まっりは5月3日

粟津御供の神事を守り伝えている膳所の五社(石坐神社、和田神社、膳所神社、篠津神社、若宮八幡神社)では、今年も春のお祭りが行われます。

膳所藩最後のお殿様本多康稷公に、明治23年(1890)5月3日膳所五カ村の氏神様の神輿渡御をご覧いただいた日から始まったお祭りですが、総社の意思によるものでもなく、異なる村の神社と一緒に神輿渡御するお祭りは珍しく、膳所の町衆連帯の象徴となっています。

令和8年膳所五社まつり 神輿渡御の時間					渡御の順番		
出発	11:40	→ 1:50	→ 12:00	→ 12:10	→ 12:20	① ふれ太鼓	④ 篠津神社
	石坐神社		和田神社	膳所神社	篠津神社	② 和田神社	⑤ 若宮八幡神社
解散	13:30	← 13:20	← 13:10	← 12:50	← 12:40	③ 石坐神社	⑥ 膳所神社



膳所の祭典大参集

膳所まちづくり委員会主催「膳所桜まつり2026」が4月5日(日)に開催されます。会場となる膳所城跡公園には樹齢70年以上のソメイヨシノやヤマザクラが約50本(公園周辺を含めると100本)ありますが、老木も増えてきたことから、大津市や石鹿地蔵世話人会により植え替えが進められ、今年は若木が6本植えられました。



4月5日の膳所桜まつりは午前10時から午後3時30分まで、表千家緑水会の野点茶会やフリーマーケット30店、商店街などの模擬店、露店などが出店されるほか、野外ステージでは膳所高校ブラスバンド班やチアリーディング班、膳

所公民館利用者団体の演奏、キッズダンスなどが行われます。

ステージでは、新企画として高校生以下のお笑いコンテスト「ZEZE-1」が午後1時から2時まで開催され、子どもたちの漫才や落語をお楽しみいただけます。



膳所小150周年記念事業

記念式典・歴史資料式企画展など

膳所小学校は明治9年(1876年)現在の浜田町に栗津学校として開校してから、今年で150周年を迎えます。

既に膳所ブリングアップが「落語や茶の湯かるた体験」などの協賛イベントを実施していますが、膳所小学校では150周年を記念して6月13日(土)に記念行事を開催するほか、6月20日からは膳所歴史資料室が膳所小学校の古い瓦などを展示する夏季企画展「膳所小学校創立150周年」を、さらに8月にはおやじ倶楽部主催の「肝だめし」などが予定されています。記念事業へのご参加とご協力をお願いします。



大津市中南部ブロックまちづくり推進事業

聞いてみよう やってみよう!

平野・晴嵐・富士見・膳所の4学区の自治連合会が主催した子どもたちの体験イベント「みんなでいっぺん聞いてみよう やってみよう!」が開催されました。



この事業は、落語・茶の湯・競技かるたの体験を通じて、子どもたちに伝統文化や芸能の魅力を知っていただくとう膳所ブリングアップが企画して実施したもので、2月14日(土)には膳所焼美術館で茶の湯体験が開催され、12組の親子など36人が参加しました。

膳所茶は幕末の日本に開国を求めてきたアメリカのペリー提督に振舞われたことで有名で、

膳所焼は茶道具として知られています。始めに膳所焼美術館長から茶の湯の歴史やマナーを教えてもらい、続いてお茶のたて方やいただき方などを体験。慣れない手つきながらも、茶筌を動かしながら、お茶をたてる様子が見られました。参加した子どもたちは「ちょっと苦かったけど美味しかった」「緊張したけど楽しかった」と話していました。



2月23日(祝・月)には生涯学習センターで、膳所出身の落語家・三遊亭わん丈さんによる落語教室が開催され、約200人が参加。わん丈さんから、落語の魅力を紹介いただくとともに、

古典落語の「牛ほめ」を披露。この後、子どもたちは実際に高座に上がり、ミニ落語を体験。わん丈さんから扇子使ってそばを食べるしぐさや小話を教えてもらった子どもたちには、古典落語の魅力に触れる貴重な体験となりました。

2月28日(土)には膳所市民センターで、大津あきのた会の方々に講師に招請して、小倉百人一首・競技かるた体験が開催され、子ども16人家族を含めると34人が参加しました。競技かるたのテレビドラマ化や、「競技かるた名人位・クイーン位決定戦」が近江神宮で行われていることもあり、関心の高い子どもたちが多い様子でした。子どもたちは、読み上げられる歌を集中して聞き、一生懸命に札を探して手を伸ばす姿が見られました。



ありがとう! 奎文堂
121年の歴史に幕

1904年創業の老舗書店「奎文堂」が昨年12月30日で閉店され、121年の歴史に幕を下ろしました。



奎文堂は、膳所高校の正門前にある書店として、長年に亘り、地域や膳所高校生徒の皆さんに親しまれてきました。広さ約100㎡の店内では、参考書をはじめ、「街の書店」として雑誌やマンガ、文庫の小説なども扱ってこられました。最近では、大津市を舞台にした青春小説の主人公・成瀬あかりが通う学校として膳所高校が注目され、奎文堂にも聖地巡礼で多くのファンが訪れるようになったそうです。

奎文堂の歴史は長く、膳所藩の藩校跡地に滋賀県第二尋常中学校が開校されてから6年

後の1904年(明治37年)に開店。その後、1913年に大津電車浜大津・膳所間(現京阪電車石山坂本線)が開業し、現在の膳所本町駅(当時の名称は膳所駅)が開設。昭和の時代には、駅から100m程にアーケードが設置され、肉屋や米屋など15店舗がにぎわいを見せていました。その後、時代の変遷とともに店舗が減少。20年程前にはアーケードも撤去され、約4年前には向かいの創業100年以上の初田餅菓子店も閉店されました。

閉店の知らせを聞いて、かつて膳所高校に通っていた方は、「当時は改修前の店舗で、本屋さん特有のインクの匂いや紙の匂いが混じり合った独特の香りに包まれており、木製の引き戸や庇の奥の懐かしい暗がり目に見えます」「棚に並ぶ難しい参考書もそうですが、友達と肩を寄せ合って覗き込んだ雑誌や漫画に、未来や流行を追いかけた時間が懐かしく思い出されます。たくさん本と共に、細やかな青春と大人への憧れをそっと見守ってくれた場所でした」と話していました。最終日に

は、成瀬あかりシリーズの著者・宮島未奈さんも来店され、敬意と感謝の気持ちを伝えられたそうです。

閉店を決断された店主の久保泰幸さんは、「寂しくはありますが、潮時かと思いました。膳所の皆様には長きに亘りご利用いただき、感謝しています」と話していました。店先には、これからも本のある風景が皆様の傍に続くことを祈りたいという思いを込めて、「Today is beautiful, but tomorrow will be more beautiful. (今日は美しいが、明日はもっと美しくなるだろう)」というメッセージが掲示され、地元や高校生など多くの皆さんが足を止めて見入っていました。

奎文堂さん、長年に亘り、膳所の地に本の素晴らしさを伝えていただき、本当にありがとうございました。



ヨシ刈りと湖岸清掃に145人参加

2月14日(土)、午前9時30分から膳所城跡公園北側ヨシ帯でヨシや雑草の刈り取りと湖岸清掃が実施されました。

ヨシ刈りと湖岸清掃には自治会やまちづくり委員会から57人が、なぎさ公園の清掃にはスポーツ少年団88人が参加して約1時間ヨシ刈りや清掃に汗を流しました。

刈り取った後のヨシは生育を促すため焼き払われ、その後大津市消防団膳所分団が丁寧に消火しました。

なお、2月8日(日)にはヨシ帯の野鳥観察会も実施。猛吹雪の中でしたが、10人が参加しました。



ふれあいサロン

令和7年度の取り組みから

膳所学区社会福祉協議会では、各自治会を対象に地域での交流を目的とした補助事業「ふれあいサロン」を実施しています。令和7年度の取り組みから3自治会を紹介します。

瓦ヶ浜町

瓦ヶ浜自治会では、12月14日(日)膳所焼美術館を見学。参加者20



人は2班に分かれて寺田館長からの歴史講話や茶道具の見学、茶の湯体験などを楽しみました。堀池会長は「身近なところでありながら知らなかったことも多く大変有意義な見学会になった」と話されていました。

杉浦一区

11月16日(日)に浜大津あたか飯店で杉浦一区交流会を開催。円卓



を囲んで会話も弾みました。抽選会も大いに盛り上がり、18人の参加者からは「楽しかった」「また参加したい」との声もかかったそうです。

殿町

殿町自治会では、8月23日(土)唯傳寺で地藏



盆を実施。自治会74軒のうち50軒が参加し、そのうち子どもたちも15人が参加して老若男女十分交流ができたとのこと。また、10月13日(祝・月)の市民運動会は二部総合3位となり町内の交流も深まりました。11月9日(日)には生涯学習センター喫茶で懇親会も開催、情報交換の場となりました。

書初めて「難関突破」

膳所ブリングアップでは、1月4日新春書初め会を開催。参加した小中学生32人は講師の森川あい子さ



の指導で各自の願い事などを真剣な顔で記していました。あわせて陶皿などへの絵付け体験も実施。陶芸家の深田猛さんの指導で、参加した子どもたちは干支にちなんだ絵や文字を絵付けしていました。

自主防・救護救命講習に各町防災委員が参加

膳所学区自主防災会では、3月1日(日)9時30分から膳所市民センターにて救護・救命講習が開催され、各町の防災委員や各種団体から約52人が参加しました。



はじめに大津市の南消防署員から心肺蘇生訓練や講話を受講、その後は屋外にて消火訓練、起震車体験などが行われました。膳所では、昨年に別保での火災もあり、高齢者が救急搬送されることも多いことから参加者は真剣な面持ちで訓練に臨んでいました。

クリーンボランティアが市民センター周辺清掃

2月21日(土)、膳所まちづくり委員会や自治会、公民館利用者の方たちにより、市民センター植栽の清掃や溝掃除等が行われました。春のような温かさで、参加した21人は汗を流しながらの作業になりました。次回は6月頃を予定しています。



膳所市民センター西側の歩道整備に着手

歩行者の安全確保のため、永年にわたり膳所公園団地自治会から要望され、膳所学区自治連合会でも優先課題とされていた市民センターから旧警察官舎跡までの歩道整備が着手されました。完成は令和8年度中の予定。



消防活動時のトイレ事情

別保での火災の際に、消火活動をされていた消防隊員や消防団の皆さんは徹夜での対応となり、その間のトイレはJR石山駅まで行かなければならなかったそうです。膳所学区自主防災会では、こうした問題に対応するため、公共機関や商業施設、各町の自治会館や集会所などに災害時や火災発生時のトイレの使用協力を求めています。



膳所焼美術館でひなまつり

2月21日(土)～3月3日(火)膳所焼美術館ではひな人形展を開催。お茶とお庭とおひな様を楽しむ観光客で連日にぎわいました。5月には武者人形展も予定しています。



4月から6月の主な催しや各団体総会等の予定

*日程は変更される場合がありますので必ず主催者にご確認ください。

- 4/5㊥ 膳所桜まつり
- 4/11 歴史資料室総会
- 4/12㊥ 歴史セミナー「粟津御供」(和田神社 歴史室)
- 4/14 粟津御供
- 4/15 まちづくり委員会定例会
- 以後 5/14 6/15

- 4/17 自治連合会総会
- 4/19㊥ 南部河川清掃(南部河川を美しくする会) 予備日 5/17
- 4/26㊥ 相模川河川清掃(相模川を美しくする会) 以後 5/24 6/28
- 4/29㊥ 体育振興会総会
- 5/3㊥ 膳所五社まつり
- 5/15 社会福祉協議会総会
- 5/16 ブリングアップ総会

- 5/22 人権生涯学習推進協議会総会
- 5/23 自主防災会総会
- 6/7㊥ 琵琶湖市民清掃(大津市実践本部) 予備日 6/14
- 6/13 膳所小学校創立150周年記念行事
- 6/20-28㊥ 歴史資料室夏季企画展 「膳所小学校創立150周年」
- 6/23 文化振興協議会総会

ご存知でしたか 膳所の雑学 23 映画ロケ

ジョン・ウェインとジョン・ヒューストンがコンビを組んだ『黒船』という映画が1958年に日本で製作されています。その時のことを故田中政之さんは、「現在は膳所城跡公園の北側に近江大橋が架かり、漁港となっていますが、昭和30年代は砂浜が広がっていました。」

そこにアメリカ映画『黒船』の撮影に來たことがありました。湖中のセットではたくさんのアユが手づかみで捕れましたので、撮影していた連中は大喜びでした」と話されていました。なお、『黒船』は邦題で、英語のタイトルは『The Barbarian and the Geisha (野蛮人と芸者)』でした。ひどいタイトルです。



コラム 膳所に感謝の99年 ⑭

「鮒ずしと琵琶湖の魚」 桂茂生

昭和の初めの頃には、わが家だけではなく鮒ずしを漬ける家が多くありました。近くに漁師さんがいたことや父が酒の肴に鮒ずしを好んだことが理由ですが、膳所の湖岸や刑務所の石垣あたりはヨシが茂っていてよく魚が捕れたそうです。向い岸の現在はボート競技場になっているあたりは入り江になっていて、すべてヨシで覆われ、近くに住んでいた友人は夜になると魚がはねてやかましいと言っていました。

鯉も浜田湯（浜田町の銭湯）の前にあった川

魚屋の水槽に鮒とともに20匹以上泳いでいました。鯉はお刺身にしたり子持ちは甘露煮、鯉こく（ミソ煮込み汁）にして食べましたが、京都新京極の「かねよ」ではその3品に卵の厚焼きを付けて定食にしていました。ただし刺身は寄生虫がいるからとの理由で禁止されるようになりました。

小学生の頃、平松君の家（西ノ庄）に寄り、ランドセルを預けてボテジャコ（タナゴ）やハエ（オイカワ）を釣りに行ったものです。（桂茂生さんは令和7年9月99歳で永眠されました。この原稿は生前に編集長に託されたもので、ご遺族のご了解を得て掲載させていただいています）

新・町名に歴史あり 消えた町名② 「山添町」

山添町は現在の相模町の一部で、バネのメーカー「山添発条」の工場と社宅があったあたりの町名です。昭和26年からは住居表示が変更され膳所山添町と呼ばれていましたが、昭和38年には消滅して相模町となりました。「山添発条」には戦前、軍需産業として

多くの学生や児童も動員されており、そのなかのひとり故田中政之さんは学童として動員されているときに召集令状を受け取ったと話されていました。写真は昭和27年当時の住居地図。



膳所の気になる木⑭

「本多神社のツバキ」

本多神社境内の築山には、本多啓一郎宮司が植えられた数種のツバキ7～8本が大きく枝を広げています。もとは勝手に生えたヤブツバキが茂っていたようですが、大きくなりすぎたため約20年前に現在のツバキに植え替えられたとのこと。椿原という町名が残っているように膳所の町にはツバキが各所に植えられていたようですが、現在では本多神社でその頃の様子を思い浮かべるばかりです。



膳所小の古い資料探しています

膳所小学校は2度の火災のために古い資料がほとんど残されていません。膳所歴史資料室では6月20日～6月28日に「膳所小学校150周年」を開催する予定ですが、展示品として、火災のあった昭和44年より古い時代のアルバムや教科書、写真などの膳所小学校に関する資料を探しています。

心当たりのある方は、歴史資料室 寺田智次(090-4282-7734)までお知らせください。



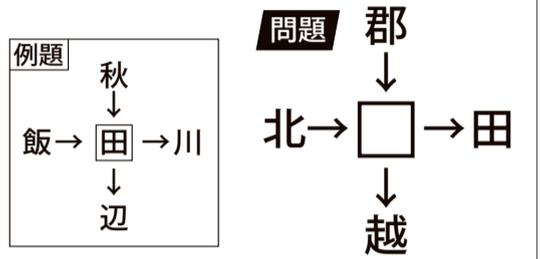
膳所商店街《協賛》

市町の名前パズル

□の中に漢字1文字を入れて、矢印の方向に2字の市名や町名4つができるようにしてください。

正解者の中から3名の方に、膳所商店街お買い物券（千円相当）をプレゼントします。
応募方法／ハガキに答と住所、氏名、面白かった記事や感想をご記入の上、「〒520-0812 大津市木下町7-6 寺田智次」まで。
メ切／令和8年4月30日消印有効。当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。なお前回の答は「田」でした。

ヒント：郡□は益踊りで有名



膳所商店街のお店と事業所（順不同）

- 金波(丸の内町9-30) ●中山製茶(中庄2-1-58) ●富永園茶舗(膳所2-10-15) ●いとう呉服店(中庄1-15-23) ●御菓子司亀屋廣房(本丸町3-7) ●中塚電機(中庄1-13-12) ●高木生花店(中庄1-15-10) ●竹内自転車店(杉浦町19-16) ●HAIR MAKE PROOF OF POWER(中庄1-11-19) ●京都新聞膳所販売所(秋葉第11-5) ●山本石材店大津店(相模町2-44) ●もも薬局(丸の内町9-30) ●池田生花店(膳所2-2-21) ●文具まつら(相模町4-12) ●貴宝堂よこの(丸の内町4-38) ●馬杉湖魚店(本丸町1-3) ●ガジェットハウス(膳所2-10-13) ●澤建設工業所(膳所1-4-20) ●滋賀銀行膳所支店(本丸町1-18) ●松田常盤堂(本丸町5-56) ●いのうえ(丸の内町4-41) ●西久興産(膳所2-13-6) ●読売センター膳所(丸の内町4-40) ●加藤酒店(木下町13-1) ●京都信用金庫膳所支店(本丸町1-1) ●ライフハピネス(御殿浜7-22)

こぼれ話⑰

横綱「鏡里」

前号のなんでも学で取り上げた相撲巡業に関連して、昭和28年(1953)から31年(1956)まで横綱を務めた鏡里が膳所に來たことがあるそうです。前田英雄さんによれば「膳所城跡公園の現在野外ステージがあるあたりに土俵を作って地方巡業をしていた」とのこと。当時は戦後間もないこともあって相撲人気は低迷していましたが、その後、栃錦・若乃花の栃若時代で人気回復するようになります。



読者からのお便り

市民ニュースの読者の方から、クイズへの回答に併せて前号(161号)の記事や思い出など感想をたくさんいただいていますので、一部を紹介します。

■堀池さん／2025年12月9日、近所で火事がありました。舞い上がる煙を見て駆けつけてくれた方々の中に「堀池です」とおっしゃる方が。「どちらの」かと思いきやなんと清典さんの弟よしおさんでした。筋向いが炎上中に「これは、どうもどうも」で始まり、清典さんの話で盛り上りました。ピリピリと緊張感が張り詰める火事

現場でしたが、きっと清典さんが「よしお、兄さん(私の父)の近所が火事や。すぐ行ってくれ」とよしおさんを向かわせたに違いない、私は微妙にニンマリしながら天を仰ぎました。清典さんありがとう。おかげさまで無事でしたよ。弟の家も。(御殿浜KMR)

■田中政之さん／お元気な時にはシジミを分けていただき、昔は近江大橋の下で大きなシジミが沢山採れたと懐かしそうに話されていました。足腰が弱られてからも、お世話をなさっていた膳所公園のお地藏様に手を合わせました。田中政之さん、ありがとうございます。(膳所一Uさん) コラムいつも楽しみでした。桂さんと田中さんのご家族には心からお悔やみ申し上げます。

■膳所小学校の火事／3月5日の誕生日の夜、

ケーキを食べている中火事が起こり、火の粉が家まで飛んできて泣きました。学校のスキー板も焼け、スキーにも行けなくなり、大変でした。(杉浦町Nさん)

■いろはカルタ／すごいですね、アツパレアツパレ(別保一Tさん)よく考えられていますね。時世がよく読まれています(本丸町Hさん)

■膳所小150周年／自分の知っている校歌はどれかなと懐かしみました。卒業して20年以上たっていますが「仲良し会の歌」今でも歌詞を覚えています。子どもが生まれる5年前まで膳所に住んでいたの、今でも膳所が大好きです。(守山市Kさん)

■新・町名に歴史あり／復活してうれしいです。膳所城の復元にも協力したいです。(本丸町Sさん)